

冬ノ四表

やしなひてかたときもはなるゝ事な

かりしにくちおしとうらみけり但へたゞし出

さまにまもりし事のみぞさすが

にとなみだをながしけるさて西行かくぞ

ながめける

消へきえにけるもとの雫へしづくを思ふにも

たれかはすゑの露へつゆの身ならぬ

ともに出家したりし西住へさいちうが心をみん

とやおもひけん頭陀へづだはこれ第へだい一の行へぎやう也